

令和6年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点に立った教育課程の編成及び授業改善を行う。	①幼児児童生徒の実態に応じたICT機器等を活用した授業改善に取り組み、主体的・対話的で深い学びによる授業実践を推進する。	①ICT機器等の活用による情報理解や表現手段等について幼児児童生徒の実態に応じた調整等を行う。	①ICT機器等の調整後の授業において幼児児童生徒の学習活動の取組状況に成果が見られたか。
	学習指導	○視覚障害等による学習上又は生活上の困難を改善・克服し自立を図るために必要となる知識・技能等の習得に向けた専門的指導を行う。	②視覚障害教育の専門性に基づいた的確な実態把握による、教育的ニーズの把握を行い、個に応じた指導・支援を実現する。	②専門性の維持・継承を目的とした授業研究会や校内研修・研究を企画・実施する。	②授業研究会や校内研修・研究の成果として授業改善が取り込まれ効果的な指導・支援につながったか。
2	幼児・児童・生徒指導・支援	○幼児児童生徒一人ひとりの実態をふまえ、課題を的確に捉え、個に応じた生徒指導・支援を組織的に行う。	①関係者間での円滑な情報共有により個のニーズに応じた指導・支援を組織的に行う。	①個の実態に応じたきめ細やかな指導・支援の内容と方法を検討し、関係者間で共通理解を図り、一貫した指導体制により実施する。	①関係者による指導・支援の取組状況に関する評価において自己理解の深まりや自己肯定感の高まりが見られたか。
			②校内の教育相談システムを活用した課題解決の校内支援体制を充実させる。	②個々の課題等に対し、早期の解決に向けた関係者の連携と協働による組織的な検討と対応を進める。	②ケース会議等の実施状況に関する報告及び評価において検討及び対応の効果が見られたか。
3	進路指導・支援	○幼稚部や小学部を含む早期から高等部まで自分の将来について主体的に考えられるように支援し、一貫した進路支援を行う。	①教育課程に位置付けられたキャリア教育の指導・支援の内容と方法を効果的に実施する。	①実施計画に基づく評価を行い、系統的な指導・支援の内容と方法を充実させる。	①キャリア教育の実施計画に基づく指導・支援の成果が見られたか。
			②国家試験合格とその後の就労定着に向け、指導・支援の内容と方法の評価・改善を行う。	②国家試験対策の各種テストの充実を図るとともに、就労定着に必要な対人技能や労働習慣、業務遂行等の職業準備性スキルの指導・支援を充実させる。	②国家試験の受験及び就労定着の状況はどうか。
4	地域等との協働	○関係機関や地域との連携・協力を推進し、社会体験・貢献等の教育活動を充実させる。	①関係機関や地域の学校、近隣施設等との連携・協力に基づく教育活動等を実施する。	①関係機関や地域の学校、近隣施設等との連携・協力に基づく教育活動等の実施に向けて連絡・調整・検討を行う。	①関係機関や地域の学校、近隣施設等との連携・協力に基づく教育活動等の実施状況はどうかであったか。
		○視覚障害教育に関するセンター的機能を推進する。	②本校の視覚障害教育に関するセンター的機能としての各事業の広報活動を充実させ、ニーズに応じた情報提供や相談事業等による支援を提供する。	②本校の視覚障害教育に関するセンター的機能としての各事業の内容をウェブページや紙媒体などで広報し、事業の利活用を促す。	②各事業の利用及び実施等の状況はどうかであったか。
5	学校管理	○安心安全な学校づくりを推進し、組織的な体制や環境整備等の改善を進める。	①働きやすい職場環境の整備を行う。	①オフィス環境の改善に関する取組の実施により本校の環境整備の円滑な実施を行う。	①環境整備により職員の業務の効率化が実現されたか。
	学校運営	○信頼される学校づくりとして事故・不祥事防止を推進する。	②実施計画に基づく事故・不祥事防止対策により、職員の意識を向上させる。	②事故・不祥事防止に関する実施計画に基づく会議や研修を行う。	②事故・不祥事防止に関する職員の意識が向上したか。